

# 第10回古代アメリカ学会研究大会・総会

## プログラム

日時：2005年12月3日（土）12：30- 17：55

場所：[早稲田大学戸山キャンパス](#) 36号館 6階 681教室

### 研究大会（12：30-17：05）

1. 開会の言葉 会長 加藤泰建

### 2. 研究発表（12：35-13：05）

(1) 「古典期マヤ文明の日常生活と社会経済組織—アグアテカ遺跡出土の石器分析を中心として—」

青山和夫（茨城大学）

（発表要旨は[こちら](#)）

### 3. 調査速報 1（13：05-14：50）

(2) 「ホンジュラス、ラ・エントラダ地域における発掘調査概報」

寺崎秀一郎（早稲田大学）

(3) 「チャルチュアパ遺跡タスマル地区調査」

伊藤伸幸（名古屋大学）・柴田潮音・加藤慎也

(4) 「エクアドル・ソレダー遺跡の発掘調査（第3次）」

大平秀一（東海大学）

(5) 「神殿と動物表象：リモンカルロ遺跡2005年度調査より」

坂井正人（山形大学）

(6) 「ペルー北部高地、コンゴーナ遺跡の石彫について」

渡部森哉（日本学術振興会）

(7) 「ペルー北高地パコパンバ遺跡2005年度調査概要」

関 雄二（国立民族学博物館）、ワルテル・トッソ・モラーレス（ペルー財団法人天野博物館）、  
フアン・パブロ・ビジャヌエバ（ペルー国立サン・マルコス大学）、井口欣也（埼玉大学）、  
ラファエル・ベガ・センターノ（ペルー国立サン・マルコス大学）

（発表要旨は[こちら](#)）

### 休憩（14：50-14：55）

### 4. ポスターセッション（14：55-15：15）

(8) 「博物館におけるアンデス資料を利用した展示例の紹介（教育普及の取組み）—光記念館 特別展 インカ文明展を事例として—」

吉井隆雄・竹内健二（光記念館）

（発表要旨は[こちら](#)）

### 休憩（15：15-15：20）

### 5. 調査速報 2（15：20-17：05）

(9) 「クントゥル・ワシ遺跡出土動物骨資料の調査概報」

鶴澤和宏（東亜大学）・関雄二（国立民族学博物館研究戦略センター）・加藤泰建・  
井口欣也（埼玉大学）・坂井正人（山形大学）・大貫良夫（財・リトルワールド）

(10) 「クントゥル・ワシ遺跡出土遺物の整理作業中間報告—石器、骨角貝器、土製品、金属器について—」

荒田恵（総合研究大学院大学）・西澤弘恵（東京大学）

(11) 「先史アンデス社会におけるソーダライトの利用と流通に関する調査研究」

加藤泰建（埼玉大学）、清水正明（富山大学）、清水マリナ

(12) 「ラス・ワカス遺跡および周辺諸遺跡2005年度発掘調査」

鶴見英成（日本学術振興会）

(13) 「ペルー、ヤングヌーコ遺跡ならびにケウシュ遺跡の調査」

横山玲子・吉田晃章・須藤大輝・松本亮三（東海大学）

(14) 「ウルピカンチャ遺跡2005年度発掘調査報告」

徳江佐和子・熊井茂行（明治学院大学）

（発表要旨は[こちら](#)）

### 休憩（17：05-17：15）

### 総会（17：20-17：55）

6. 事務報告 代表幹事 横山玲子

7. 会計報告

(1) 2004年度決算報告 事務幹事 吉田晃章

(2) 2004年度決算監査報告 監査委員 青山和夫、長谷川悦夫

8. 2005年度予算案 事務幹事 吉田晃章

9. 会員状況報告 事務幹事 吉田晃章

10. 会誌「古代アメリカ」第8号編集報告 編集委員 佐藤悦夫、佐藤吉文

11. その他

12. 閉会の言葉 会長 加藤泰建

以上